

図書館だより 9月号

2022年9月20日発行
阿波高校図書委員会

残暑厳しい…というより、
真夏のような日々が続いていましたが、
台風が過ぎ去り、
ちょっとは秋らしい気候になるのでしょうか？
さて、阿波高祭の企画の一つとして、
2階渡り廊下に図書委員による紹介文を展示しています。
しばらく展示させていただきますので、
まだの方は、一度ご覧になってくださいね。



○図書係うさももによる企画

～阿波高ゆかりの人々の本～

阿波高校卒業生で著名な方と言えば、どなたを思い浮かべますか？
やはり映画監督の三木孝浩氏でしょうか？

『くちびるに歌を』とか『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』とか、
たくさん映画を手がけているので、きっとどれかは見たことあるのでは？
さて、今月は阿波高卒業生の方の書籍をご紹介しますと思います。新たな著名人として注目ですよ！

『 鯉姫婚姻譚 』

藍銅 ツバメ 著

徳島新聞にも二度ほど取り上げられていたので、ご存じの方もいるかもしれませんが…。まず、作者の藍銅ツバメさんについてご紹介しましょう。

1995年大阪生まれ。中学生の時に吉野川市に引っ越してこられ、阿波高校から徳島大学総合科学部へ進学と、青春時代を徳島で過ごされました。現在は東京の区立図書館で司書として勤務されています。そして、今回この『鯉姫婚姻譚』で日本ファンタジーノベル大賞2021を受賞し、作家デビューされました。ペンネームの「藍銅ツバメ」は大学時代に好きだったオスカー・ワイルドの『幸福の王子』の話に由来しているそうです。詳しいペンネームのエピソードを知りたい人は、ネット上にインタビュー記事があるので検索してみてください。子供の時に『幸福の王

子』が好きだったうさももは、由来を読んで、ほほーっと思いましたよ。

さてさて、そろそろ本の内容を紹介しましょうか。

でも、あまり内容は言えないんですよ。読んでお楽しみ!!!てところがあるので。ネット上には様々なコメントがあるけれど、ネタバレものは目にせず読むことをおすすめします。

私自身、前情報は阿波高卒業生というだけで、中身のことを知らずに今回は読んだのですが。途中途中で「ん？」と思いつつ、ラスト、「えー！」となる、久々に「そうきたか…。」と思う本でした。

簡単にあらすじをまとめると、若隠居した孫一郎が屋敷の庭の池に棲む人魚のおたつに求婚されて、それをあきらめさせるために「人間と異形のもの」との結婚話を聞かせていく…という話です。孫一郎とおたつのやりとりの間に、昔話「人と人じゃないものの婚姻譚」が挟み込まれ…。それぞれの昔話の結末も気になり、さらに二人はこの後どうなるのか…と本筋も気になり、気づくと読むスピードがどんどん上がっていきます。ぜひラストまで自分で読んでください。



『 芝田順子水彩画集 』

芝田 順子 作

本館一階、事務室と校長室の間の壁一面に飾られている大きな絵を知っていますか？「初秋」と名付けられた大きな柿の木の絵です。この画集は、その柿の木の絵を描かれた方のものです。芝田氏も卒業生です。画集にはいろんな題材の作品があります。芸術の秋ですし、画集を見てはいかがでしょう。ちょっと大きな本なので、持って帰るのは大変かもしれませんから、ぜひ昼休みや放課後に手に取ってみてください。

それでも、ぜひ、校長室前の絵もご覧ください。ただし、通るときは静かにね。

来月からは、2年生の図書委員さんが担当します！

それでは、また10月号でお目にかかりましょう！



